

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	玉野市家庭教育支援チーム
②活動拠点	市内幼稚園、小学校、中学校
③活動範囲	玉野市内全域
④組織体制	6 人 児童委員1人、元教職員1人、PTA 役員1人、子育て経験者3人
⑤活動開始年度	令和5年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 玉野市教育委員会社会教育課 (TEL)0863-32-5577 (E-mail) syakaikyouiku@city.tamano.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☐ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ・講演会 市内幼稚園、小・中学校において、参観日や入学説明会等保護者が集まる機会を利用して講演会を実施している。

	・親育ち応援学習プログラム 市内幼稚園、小・中学校において参観日等を利用し、ワークショップを実施することで、保護者同士の交流を深め、子育てについて楽しく振り返る機会を提供している。 ・親のグッドスタート 市内小学校に新入学する子どもの保護者を対象に給食交流会や学校参観日に参加していただき、保護者同士の交流を行うことで、入学までの疑問の解消をねらっている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・講演会、親育ち応援学習プログラム等を幼稚園5園で14回、小学校11校で13回、中学校6校で32回開催した。 ・入学説明会では、入学前の不安を学校も交え話し合い、異なる保育園・幼稚園の保護者同士の交流も活発に行われたことで、入学前の安心に繋がった。 ・親育ち応援学習プログラムを通じて、保護者同士の交流ができ、リフレーミング等、学びや気づき、モチベーションの向上ができたとの声をいただいた。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()